

— 剛志学府連携協議会から — 「剛志学府」境西中学校区連携協議会開催

令和4年度第3回境西中学校学校運営協議会を令和4年11月25日(木)に、境西中学校図書室において開催しました。今回は「剛志学府」境西中学校区連携協議会として、剛志小学校評議委員と境西中学校運営協議会委員が合同で会議を行いました。出席者はまず校内見学をし、生徒の活動の様子をご覧いただきながら、協議にうつりました。今回の会議では、小中学校の取組と課題について、各校長先生からご説明をいただきました。次に剛志学府(学府連携協議会)の取組と課題について、和佐田公民館館長様からご説明をいただきました。それぞれ説明いただいた取組や課題をもとに、2班に分かれて班別協議を行いました。議題について、各委員の皆様から感想や質問、ご意見を多数いただき、とても充実した会議となりました。

1、各学校の取組と課題について

(1) 剛志小学校 学校運営の現状や取組・課題について (三木校長)

4月から『「楽しい」「面白い」「うれしい」の気持ちがあふれる学校』を目指して取り組んでいます。「自律する力」、「なりたい自分」を目指す心を育て、友達と協力することで、人間関係形成力を育てるという経営方針のもと、日々進めています。教職員一同、子供を否定するのではなく肯定的・共感的に見守っています。子ども達は落ち着いて生活していますが、中には個々に課題を抱えている者もおります。改善のため、その都度粘り強く個別指導しています。学校だけで無理なことは、保護者の方の協力をお願いしています。

学校評価アンケート(Googleフォームで回答)結果より

- ・「学校は楽しい」と92.4%の児童、「楽しく学校に通っている」と96.1%の保護者の回答をいただきました。日頃の教育活動の成果と感じます。
- ・家庭学習については目標時間とされる目標数値を下回っており、達成率は69.6%でした。学校全体で改善に取り組んでいこうと思います。

学校行事について

10月に運動会、昨日5年生が『たくみの里』へ校外学習へ行き、2学期に予定されていた行事がすべて終わりました。11月は6年生が修学旅行に行ってきました。コロナ禍ですので、6年生は初めての泊を伴った行事を3年ぶりに行えました。6学年担任は、夏休み中から感染対策を考え練った旅行計画を保護者に伝え、理解を得て実行できました。

コロナ禍となってから、行事がスリム化しています。今後も子ども達の成長に必要な、行事のあり方を考え行っていきます。

タブレット端末について

今年度、本校では急速に活用が進んでいます。学級閉鎖中もオンラインで授業をしています。オンライン学習を行うと「学校に行かなくてもいいのではないか?」という疑問もあります。授業は生もの、子どもとは対面で接するというのが一番だと考えています。あくまでも緊急時の対応と考えています。



また、「学校評価アンケート」を保護者の方にもタブレットから回答していただくことになり、大変好評です。今までは運動会や学校公開日に、紙ベースで、健康状態申告書を提出してもらっていましたが、こちらも個人のスマートフォンから申告していただけるようになりました。

(2) 境西中学校 学校運営の現状や取組・課題について (結城校長)

2学期の始まりに、職員と「生徒の命と安全・安心を守り通し、生徒一人一人がしっかりとした目標を持たせること」共通理解を図りました。生徒達は、「明るく元気にプラスワン」のスローガンのもと、日々目標を持って生活しています。2学期は「目標を達成するために、自信と誇りをもった2学期にしよう」を合言葉にしました。先日は、合唱コンクールと文化祭、同日に「弁当の日」を行いました。コロナ禍となって3年が経ちます。現中3生は、入学してすぐ臨時休校で中学校生活をスタートしました。制限下のもと、人と人の距離をとることや、活動制限をさせながらいかに学校生活を有意義に送れるか、ずっと課題が続いています。この学区は小規模学区であります。他学区に比べ、コミュニケーション能力が低くなっています。人間関係が膠着化され、「自分らしさが発揮できない。」「コロナでコミュニケーションがとれない。」と悩む子もいます。しかし、生徒達が落ちているのは、小学校からの蓄積や、保護者の方、地域の方々のサポートがあってこそだと思います。今、生徒会を中心に、決められたルールを押しつけるのではなく、生徒が主体的に生活できるよう、校則を見直しをしています。

学習面について

・NRTテスト(全国学力テスト)は、1、2年生は全国と同レベルでした。3年生対象の全国学力調査(国・数・理)は、全国よりもプラス8ポイント上の学力を身につけていました。個別最適な学びと協働的な学びが上手く生かされていると考えます。

学校行事について

・今年度は3年生の保護者の方のみ、合唱コンクール・文化祭を参観していただきましたが、You Tubeでも配信しました。合唱コンクールに続き、学校代表となった生徒の英語の弁論発表を行いました。午後は希望者による文化発表で、オーディションをした10組が個人発表を行いました。歌、ダンス、ピアノ演奏、自作のプログラミングの紹介、地区で取り組んでいる和太鼓など、生徒同士の絆を深めました。

ICTの活用について

- ・生徒・職員とも9割以上が活用できていると回答しています。
- ・『いせさきGIGAスクール構想』の4つのステップに合わせて、思考・判断・表現など主体的にICTを活用し、子ども同士、教師と子どもと双方向のやりとりができ、主体的・対話的に学びの質を高める事ができています。

地域との関わりについて

- ・「弁当の日」やフードドライブの活動は、SDG s 教育となり、これは生徒の自己有用感にもつながると思います。



2、剛志学府(学府連携協議会)の取組と課題について

(和佐田館長)

(1)今年度の取組と課題

フードドライブ事業

・市内のボランティア団体「みんなの家かがやんち」様が、奇数月に食品等を希望者に配布する事業(フードバンク)へ、寄付された食品等を持って行く活動(フードドライブ)を、7月・9月・11月と行いました。7月は小中学校での寄付品、9月は地域の方のみの寄付品、11月は小中学校と地域の方の寄付品を届けてきました。いつも西中の生徒さんが、寄付品を分別してくれています。130人~180人位の方が来場され、アンケートの回答を見ると、半分が日本人の方でした。皆さんから、大変ありがたいとの声をいただいています。ただ、寄付品を募るのは、間隔を空けた方がもっとより集まると思いました。

制服リサイクル事業

PTA役員さんの声から始めました。小中学校の体育着、制服、指定カバンなど合計224点集まり、157点配布しました。当初は住民レクでの配布でしたが、中止されたので、11月の剛志地区文化祭で実施されました。101名の方がリサイクルコーナーに訪れ、協力していただいた方へのアンケートを見ると、“大変よい” “良い” の回答がほとんどでした。試着できるとよいとの声があったので、来年度は住民レクか文化祭か、どちらで実施するのが良いか検討したいと思えます。

3、班別協議

議題 ・自己有用感を高める取組について(弁当の日、フードドライブ、食育、SDG s 教育) ・小中一貫した生活のきまり、校則について
--

上記の議題で2班に分かれて協議しました。日頃、生徒達が授業で使っているタブレット学習ソフト「ミライシード」を使って、各班で意見や感想を発表しました。

校則について

- ・中学校入学前に、校則の内容を知っていたかった。
- ・女子のスラックス導入は、LGBTQの考えからも良かった。
- ・「ブラック校則」と言われるような、上から決められたものではないが、何でも自由で良いとは言えないだろう。
- ・中学生らしさ、安全面を考え、生徒にとってより良いものにしていかなければならない。
- ・校則は最低限のもので、子どもの自主性を重んじて変えていくとよいのでは。
- ・校則が変わったら、地域にも知らせて欲しい。

弁当の日について

- ・スーパーに行くと、「弁当の日」のポスターがはってあり、地域が協力しているのが分かった。
- ・弁当作りだけではなく、使う野菜の成長など、近所の農家の方に学ぶというのはいいのではないか。(→以前はゴボウ作りをしていたが、コロナ禍でできなくなってしまった。先日、小学3年生が農家へ見学に行ってきた。)

その他

- ・文化祭で、生徒達が自分の特技を発表するのは、自己有用感を高めるにはいいことです。給食の時間は、そういった場面を録画し視聴させる良い機会になるのではないかと。
- ・タブレットの厳重な取り扱いや保管を先生方には、徹底していただきたい。

4、その他 諸連絡

次回第4回定例会(境西中学校区連携協議会)は、2月9日(木)14時からです。次回は小学校との合同ではありません。

(講評)

(教育委員会 関上係長)

小中学校生のうちに、地域活動に参加している子ども達は、大人になっても地域の行事に参加したり、大人になってから地元に戻ってきたりするという研究結果があるそうです。学校と家庭、地域が双方向の取組をして、活動する中で、子ども達の自己有用感を高めていけたらと思います。剛志地区が目指す子供像、地域像の目標に向かって、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今後もさまざまなご意見を皆様からいただき、連携して子ども達を育てていけたらと思います。

